

# 令和7年度 第3学年 理科 年間指導計画・評価計画及び評価規準

月	単元・題材	目標・学習内容	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	単元1: 化学変化とイオン 1水溶液とイオン 2酸、アルカリとイオン まとめ	化学変化についての観察、実験を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解させるとともに、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、原子の成り立ち、イオンについて、酸・アルカリ、中和と塩、金属イオン、化学変化とイオンについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液とイオン、化学変化と電池について、見通しをもって観察・実験を行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに探究のかたいを振り返るなどしている。	水溶液とイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しを持った振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
9 10 11	単元2: 化学変化と電池 1単元3: 運動とエネルギー 1物体の運動 2力のはたらき まとめ	物体の運動やエネルギーに関する観察、実験を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解させるとともに、日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初步的な見方や考え方を養う。	運動の規則性、力のつり合いと合成・分解、力のはたらき方と運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらき方、力学的エネルギーに関して基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けています。	運動の規則性、力のつり合いと合成・分解、力のはたらき方と運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらき方、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	運動の規則性、力のつり合いと合成・分解、力のはたらき方と運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらき方、力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
4 5 6 7	単元2: 生命の連続性 1生物の成長と生殖 2遺伝の規則性と遺伝子 3生物の多様性と進化 まとめ	身近な生物についての観察、実験を通して、生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解させるとともに、生命の連続性について認識を深める。	生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身についている。	生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類と多様性と進化について、観察、実験などをを行い、その結果や資料を分析して解釈し、規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
9 10 11 12	単元4: 地球と宇宙 1地球の運動と天体の動き 2月と金星の見え方 3宇宙の広がり まとめ	身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察させるとともに、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解させ、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転、月や金星の運動と見え方、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身についている。	天体の動きと地球の自転・公転、月や金星について、太陽系と恒星について、天体観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	天体の動きと地球の自転・公転、月や金星について、太陽系と恒星について、事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。
1 2 3 4	単元5: 地球と私たちの未来のため 1自然の中の生物 2自然環境の調査と保全 3科学技術と人間 4持続可能な社会のために まとめ	自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。	日常生活や社会と関連付けながら、自然界のつり合い、自然環境の調査と環境保全、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用、経済活動と資源・環境を関連付けながら、生物相の変化、資源の減少などを理解し、基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身についている。	植物が増加すると草食動物や肉食動物が時間を追うごとにその数がどのように増減するかを考察することができる。微生物のはたらきの実験結果から、分解者の役割を考察し、判断することができる。生物と環境について、身近な環境などを調べる観察、実験などをを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察している。日常生活や社会で使われているエネルギーと物質について、見通しをもって観察、実験などをを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察・実験などをを行い、自然環境の保全のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。資源・環境の持続性について問題を見いだし、身の回りの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けての行動を判断する。	生物と環境に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振りかえったりするなど、科学的に探求しようとしている。自然環境の保全や自然とヒトの関わりについて探究し、自然環境の保全や自然との向かい合い方に関して自らの考えをもつことができる。エネルギーと物質に関する事物・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象にすんでかかわり、見通しをもったり振りかえったりするなど科学的に探究する。これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探求しようとしている。